

令和7年1月3日
公益社団法人 自衛隊家族会
東京都自衛隊家族会
会 長 森山 尚直

令和7年1月「月報」

<会長挨拶>

謹賀新年

会員の皆様には、穏やかな新春をお迎えになったことと拝察申し上げます。本年も宜しくお願い致します。

さて昨年は、元日の家族団欒を襲った能登半島地震、統計開始以降で平均気温が最も高く暑かった夏（6～8月）、3年目に入ったロシアによるウクライナ侵略や353日と過去最高となった中国公船の尖閣諸島周辺の接続水域への侵入などの「力による現状変更の試み」など、日本の安全保障環境は「戦後最も厳しく複雑」と言われました。

そしてこの国内外の状況は、令和7年にも引き継がれることとなります。

このような状況を受け、国家・国民の防衛省・自衛隊に対する期待はより一層高まり、防衛力の抜本的な強化が進んでいます。しかしながらその抜本的強化の前提とも云える人的基盤の強化、特に自衛官の募集は、極めて厳しい状況になっています。

石破茂総理大臣は、年頭の辞で「全ての人々の幸せを実現するため、三つの重要政策課題に取り組みます。第一は、外交・安全保障上の課題への対応です。（中略）我が国を取り巻く国際情勢は厳しく複雑です。こうした中でも、外交と防衛を車の両輪として、我が国の国益を守り抜きます。防衛力の根幹である自衛官の生活・勤務環境や処遇の改善にも取り組んでいきます。（以下略）」と述べています。

令和7年は、国家として、防衛力の人的基盤強化に取り組む共に、国民一人一人が、自衛官の募集状況を「我がことと」して深刻に受け止め、その改善に取り組むべき年であり、自衛隊を支援する東自家族会にとって、より積極的にその役割を果たせなければならない年であると思っています。

最後になりましたが、この一年が、会員の皆様にとって素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げます。

また、この年末年始においても国内外で不断の警戒・監視任務等を遂行された自衛隊員の皆様、12月27日～29日の間、山梨県上野原市での山林火災及び12月28日～1月1日の間、茨城県八千代町での鳥インフルエンザ発生に伴い災害派遣活動に対応された隊員の皆様に感謝致します。



(写真は活動中の第1飛行隊)

<東自家族会の活動>

1 令和6年12月の活動

(1) 北方領土返還要求中央アピール行進

12月1日(日)、日比谷公会堂から銀座1丁目にかけて、北方領土返還要求中央アピール行進が行われ、森山会長が参加しました。

「1945年12月1日、当時の安藤石典根室町長が連合軍最高司令官マッカーサー元帥に対し、北方領土の返還を求める陳情書を提出した日で、この歴史的経緯にちなんで、12月1日を「北方領土返還運動のはじまり」の日と位置づけ、日本の中心である東京においてアピール行動を行っています」(中標津町HPより)



(2) 小平駐屯地・小平学校記念行事

12月18日(日)に小平駐屯地創立70周年・小平学校創立24周年記念行事が開催され、森山会長、三多摩地区協議会長などが出席しました。

学校長兼駐屯地司令の宮崎紀彦陸将補は、式辞で「小平学校の使命は、陸上自衛官はもとより海・空自衛官、事務官・技官を含めて幅広く真に役立つ人材を育成することであり、『国の安危を擔(にな)うべき身たるの修養』を校風として学校職員一同、たゆまぬ努力と精進を重ねています。また駐屯地司令として「融和共生」を掲げ、その実現に向けて小平駐屯地を運営していきます」と述べました。



(3) 第1普通科連隊創隊73周年記念行事

12月15日(土)練馬駐屯地で、第1普通科連隊創隊73周年の観閲式・観閲行進・訓練展示・記念祝賀会が開催され、森山会長はじめ多くの地区会長が出席しました。

第1普通科連隊は、警察予備隊当時の昭和26(1951)年に久里浜駐屯地で普通科第1連隊として創隊され練馬駐屯地に移駐。昭和29年自衛隊の発足とともに、第1普通科連隊と改称されました。



連隊長の篠部大介1等陸佐は「頭号連隊として一に拘ります」と決意を述べました。

2 令和7年1月以降の主な事業・行事

(1) 東京地本協力9団体主催防衛講演会及び新年交換会

東京都隊友会が主担当として、東京地本協力9団体(東自家族会を含む)主催の防衛講演会と新年交換会が開催されます。ご都合の良い方をご参加ください。

日時: 令和7年1月20日(月) 16:00~19:00

場所: ホテルグランドヒル市ヶ谷

講演会: 講師は陸上自衛隊の将官を予定 16:00~17:00

新年交換会: 17:00~19:00 会費: 8,000円

(2) 地区会長等意見交換会

令和7年1月25(土) 13:30~19:00

意見交換会：13：30～15：30 東京地本会議室

防衛講演会：16：00～17：00 ホテルグランドヒル市ヶ谷

講師：陸上自衛隊の将官を予定 演題「自衛隊の将来と人的基盤強化の方向性」

懇親会：17：20～19：00 ホテルグランドヒル市ヶ谷（会費 7,000 円）

（３） 関東地区部隊研修

1月29日（水）航空自衛隊入間基地の研修を理事等で東京地本のご支援を得て実施致します。

（４） 4 地区協議会長等意見交換会

令和7年2月16日（日） 14：00～16：30（東京地本会議室）

テーマ：令和6年度の事業計画の総括と、令和7年度の事業計画について

3 その他

（１） 近郊の自衛隊のイベント情報（各部隊などのホームページより）

○ 令和6年降下訓練始め行事

日時：2025年1月12日（日）

開催場所：習志野駐屯地（千葉県船橋市）

連絡先：第1空挺団第1科総務班 電話：047-466-2141

○ 令和6年度東部方面音楽まつり

日時：2025年2月23日（日）

第1回公演 10：30（開場 09：30） 第2回公演 14：30（開場 13：30）

応募締切：2025年1月23日（木）

開催場所：和光市市民文化センター「サンアゼリア」（埼玉県和光市）

連絡先：東部方面総監部総務部広報室電話：048-460-1711

○ 陸上自衛隊東部方面音楽隊 第45回室内楽演奏会

日時：2025年3月7日（金） 開場：18：00 開演：18：30

会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール（全席指定）

応募期間：1月15日（水）～2月16日（日） 応募方法：インターネットによる応募

(2) 自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立（第4回関係関係会議資料より）

主な具体的施策の今後の進め方（イメージ）					
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
処遇改善		自衛官の俸給表改定に関する 部外の専門家による検討	法案検討		俸給表の施行
	指定場所生活調整金（仮称） 新設に関する法案検討	不慣れな営舎内生活等に対する給付金（指定場所生活調整金（仮称））を支給			
	自衛官任用一時金引上げ に関する政令改正	自衛官任用一時金の引上げ			
	新たな任期制士の創設 に向けた法案検討	体制整備	新たな任期制士を採用（自衛官候補生制度を廃止）		
生活・勤務環境改善	マネジメント能力向上教育及びエンゲージメントサーベイの試行		試行を踏まえた改善	組織文化の改革を継続的に実施	
		既存隊舎の居室の個室化（陸はR7、海空はR10完了予定）			
	営舎外許可基準緩和 に向けた規則改正	営舎外許可基準の緩和			
	陸自駐屯地のすべての生活隊舎に無線LAN環境を整備				
	主要艦艇における通信環境を整備				
新たな生涯設計の確立		女性用区画、女性用トイレ・浴場等の整備（R12までに女性自衛官の割合を12%に増加）			
	関係省庁と防衛省が連携して幅広い業界や経済団体に働きかけることによる再就職先拡充				
	地方公共団体の防災・危機管理部門における退職自衛官の採用の拡大、安定的な雇用と処遇の確保				
	65歳に至るまでの再就職の援助を可能とするための制度整備			体制整備	援助開始
	R10年度以降の定年の引上げに向けた検討の実施				定年の引上げ
		若返金に関する 部外の専門家による検討	法案検討	若年定年退職者給付金の給付水準の引上げ	
	人的基盤の強化を担う室の設置		人的基盤の強化を担う室による施策の検証・フォローアップ		

2

士の人材確保のための処遇改善

◎ 令和7年度採用者※のうち、自衛官候補生には①指定場所生活調整金+②自衛官任用一時金の154.4万円、一般曹候補生には①指定場所生活調整金の120万円を支給（※）1については令和7年3月採用者を含む。

◎ 令和6年度以前採用者についても、一定の要件のもと①指定場所生活調整金を支給

①指定場所生活調整金 【120万円】

営舎内居住などの不慣れな生活を強いられる入隊直後の自衛官のモチベーションの維持・向上を目的とした政策的給付であり、士気が高く資質の優れた隊員への成長を期待するもの。

⇒ 自衛官候補生、一般曹候補生及び令和8年度以降の新たな任期制士に対し、最大で120万円支給する。

◇支給要領
自衛官候補生及び一般曹候補生として採用された者に対して、採用日から6年経過するまでの間、同日から1年経過するごとに20万円を支給（総額120万円）※

（※）1年の途中で退職や営舎外居住が許可された場合、その年の分は不支給

②自衛官任用一時金の引上げ 【34.4万円】

自衛官候補生から自衛官（2士）に任官する際、自衛官として必要な資質の確保・向上がなされたことを報奨するとともに、その後の自衛官としての任期を全うすることを奨励するために設けられた政策的給付。

⇒ 今回の引上げにより、自衛官候補生の採用1年目の年収※は、一般曹候補生と同等となる。

（※）年収モデル（俸給及び賞与ベース）による試算

◇令和7年度改定額
【3か月後の自衛官（2士）任官時に支給】

○ 自衛官任用一時金 22.1万円 > 34.4万円（+12.3万円）

詳しくは、防衛省HPをご参照ください。

www.cas.go.jp/jp/seisaku/jieikan/gijisidai/dai4/sankou.pdf

<地区協議会だより>

○ 三多摩地区協議会

三多摩地区協議会は、東京地本三多摩地区隊が行ないました入隊予定者の教育部隊見学会に協力しました。見学会は、11月30日に空自・熊谷基地第2教育隊、12月15日に陸自・武山駐屯地第117教育大隊と海自・武山地区の横須賀教育隊で行われ、入隊予定者42人とご家族23人が参加。家族会からは、各2名が同行しました。

入隊予定者、ご家族が抱く不安を解消するのが目的で、部隊見学などの後、それぞれ約1時間懇談しました。最初にご家族も緊張していましたが、家族会の説明、自己紹介、体験談を語るうちに打ち解けた雰囲気となりました。



○ 城北地区協議会 ○ 城南地区協議会 ○ 城東地区協議会

<東京地本からの連絡事項>

〒162-8850 東京都新宿区市谷本村町10番1号
自衛隊東京地方協力本部 東京都自衛隊家族会連絡所
TEL 03-5228-7833 (FAX 同時切替)

東京都自衛隊家族会賛助会員のご紹介（登録順）

参議院議員 佐藤 正久 様	昭島ガス株式会社 代表取締役 平畑 文興 様
衆議院議員 松原 仁 様	衆議院議員 長島 昭久 様
柴田法務会計事務所 柴田 純一 様	衆議院議員 松本 洋平 様
前衆議院議員 小田原 潔 様	前衆議院議員 山田 美樹 様